

(8) 美味しまね認証を核としたGAPの推進

産地支援課

1. 目指す姿と取組のポイント

GAPは、実需者や消費者の信頼向上や販路拡大につながるだけでなく、経営上のリスク対策、生産コスト削減、作業効率の向上、農作業安全・労働環境の改善等を通じて農業経営改善に有効な手段であることから、あらゆる農業者にGAPの実践を促す。

- (1) マーケットから求められる国際水準GAPである「美味しまねゴールド」の認証取得を強力に推進。
- (2) GAP認証取得が加速するよう、流通・販売業者等との協力関係を強化し、GAPに取り組むメリットが実感できるような販売環境を構築

【令和3年度実績見込み：国際水準GAP認証取得経営体数 391経営体】

2. 取組の進め方と令和4年度予算事業

(1) GAPの意義の普及と美味しまね認証（美味しまねゴールド）の取得支援

- ①GAPの意義の普及
 - ・GAP指導員となる農業普及員の育成と指導体制を強化
 - ・各対象にあわせたGAPの意義や必要性、県の考え方を丁寧に説明
 - ・農業教育機関の国際水準GAP認証取得を支援し、次世代の担い手にGAPを推進
- ②認証取得のための環境整備
 - ・認証取得希望者に対してマンツーマンの取得支援を実施
 - ・美味しまね認証アプリの実証実験等取り組みやすい環境づくりを推進
- ③団体認証の推進
 - ・JAが強力に団体認証取得を進めており、必要に応じて取組を支援
- ④スムーズな審査の実施
 - ・（公財）しまね農業振興公社による現地審査体制を強化、認証取得者の増加に対応
- ⑤信頼性の高い美味しまね認証制度の運営
 - ・国が公表した国際水準GAPガイドラインへの対応
 - ・第三者委員会による審査や安全性確認のための残留農薬分析を実施
- ⑥生産者が主体となったGAPを活用した農業経営改善活動の支援
 - ・島根県GAP生産者協議会（生産者組織）の活動支援

(2) GAPに取り組むメリットが実感できる販売環境の構築

- ①県内外における美味しまね認証製品の販路拡大
 - ・美味しまね認証製品生産者の県内外の販路開拓を支援
 - ・地元スーパーと連携し美味しまね認証製品の消費拡大の取組を実施
 - ・産地で取り組むGAP（団体認証）の取得を推進し求められるロットを確保
 - ・パートナー企業と連携し商品力向上や物流コスト削減の取組を支援
 - ・島根県農産物販路開拓アドバイザーを活用した県外の販路開拓を実施
- ②学校給食等における県産農産物の利用拡大
 - ・食材コーディネーターによる学校給食等における「美味しまね認証製品」の取扱拡大、食育事業を実施

< 予算事業名 >	美味しまね認証を核としたGAP推進事業	51,393千円（43,359千円）
	しまねの農産物販路拡大支援事業	47,208千円（39,742千円）

進め方

対象に応じた美味しまね認証（GAP）の取得支援と販売環境整備を強力に進めます。

